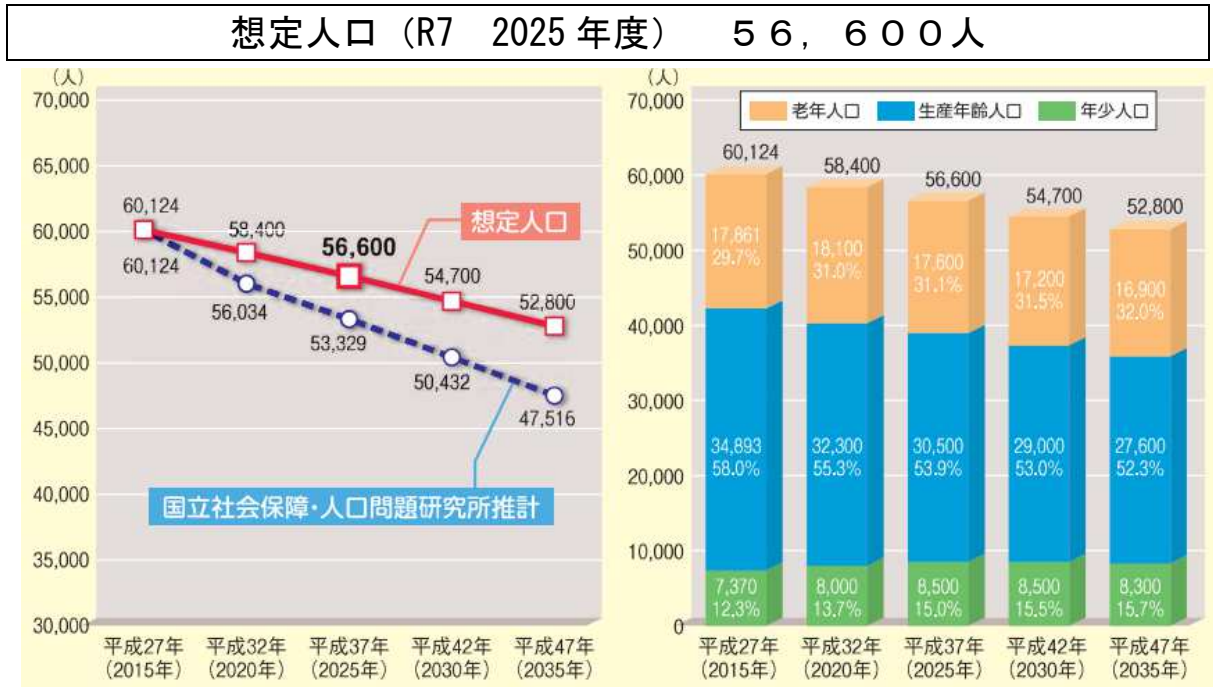


第六次土岐市総合計画の実施状況および効果検証について

1 基本指標の達成状況

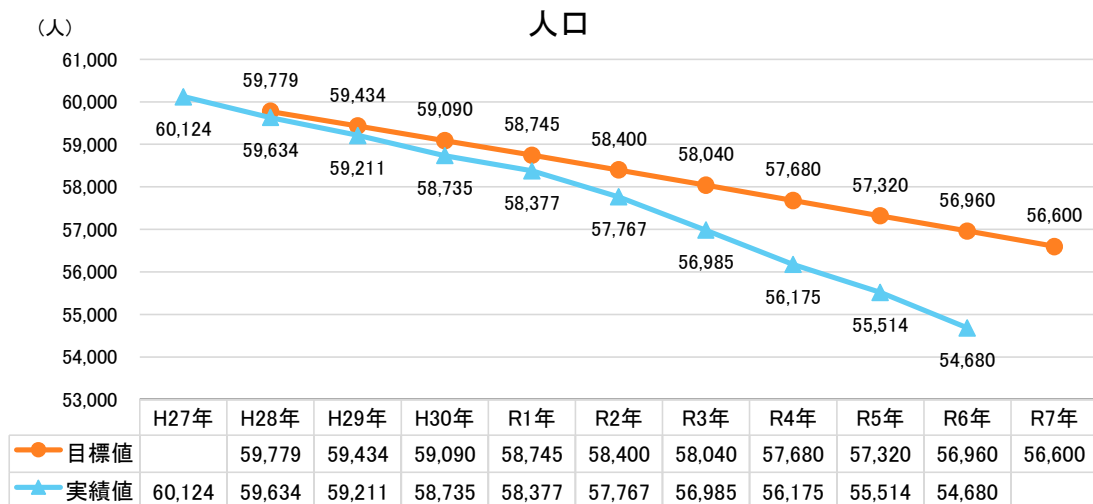
第六次土岐市総合計画では、基本指標として人口（客観指標）とまちづくり指標（主観指標）が設定されています。

（１）人口（客観指標）



実績人口（R6 2024年度） 54,680人

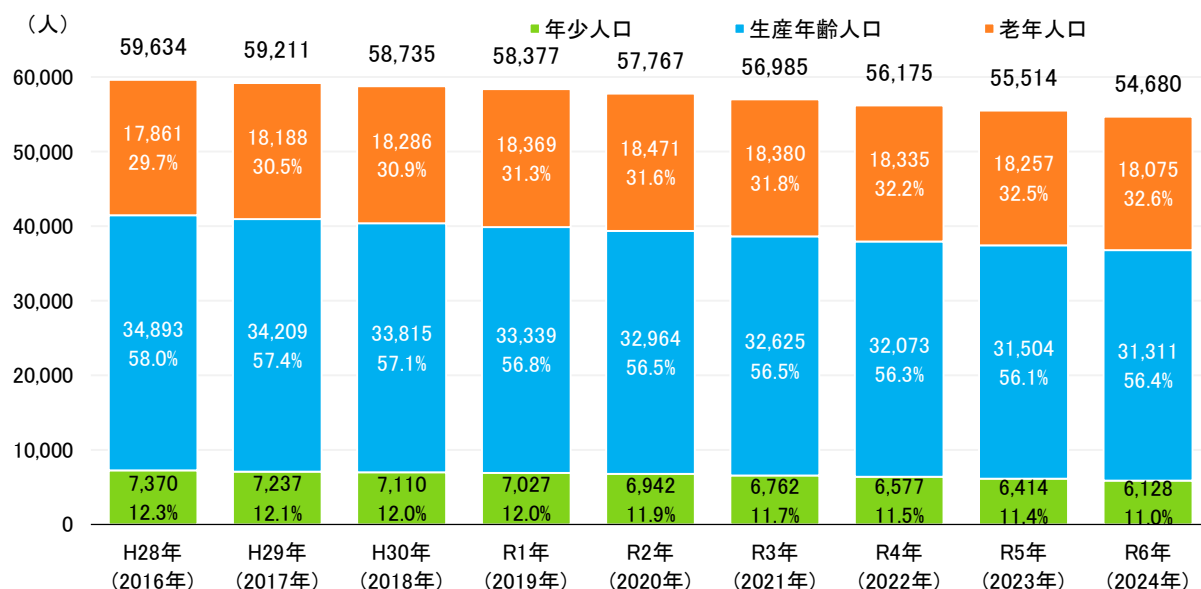
第六次土岐市総合計画では、少子化対策による出生率の向上や定住・移住対策による社会移動の改善といった対策を重点的に実施することで、令和7年度（2025年度）の人口を56,600人と想定しました。実績値をみると、計画翌年度から想定されていた減少率を上回る人口減少が進み、特に令和2年度以降は、減少幅が増加し、令和6年度時点の人口が54,680人と、令和7年度の想定人口より1,920人少なくなっています。



資料：住民基本台帳（各年3月31日時点）

年齢3区分別人口をみると、年少人口割合が増加する想定だったのに対して、実績値は減少となっております。また、老年人口割合も想定より増加しており、少子高齢化が想定より進展しています。

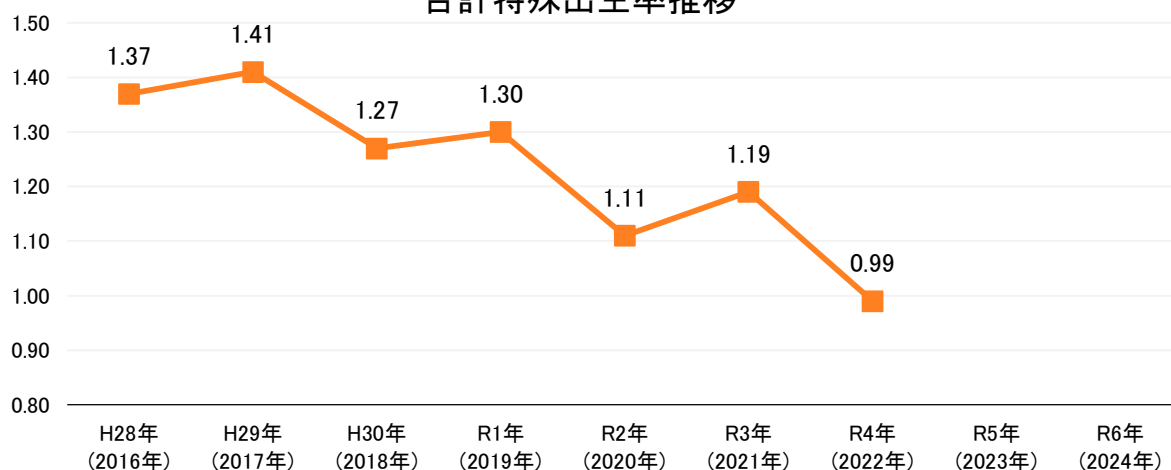
年齢3区分別人口推移



資料：住民基本台帳（各年3月31日時点）

合計特殊出生率をみると、想定では令和7年までに1.80、令和22年までに2.07へと段階的に改善する想定でしたが、実績値をみると減少傾向にあり、令和4年時点では0.99と1を下回る結果となっています。

合計特殊出生率推移



資料：東濃西部の公衆衛生（岐阜県）

(2) まちづくり指標（主観指標）

① 住みよさ指標

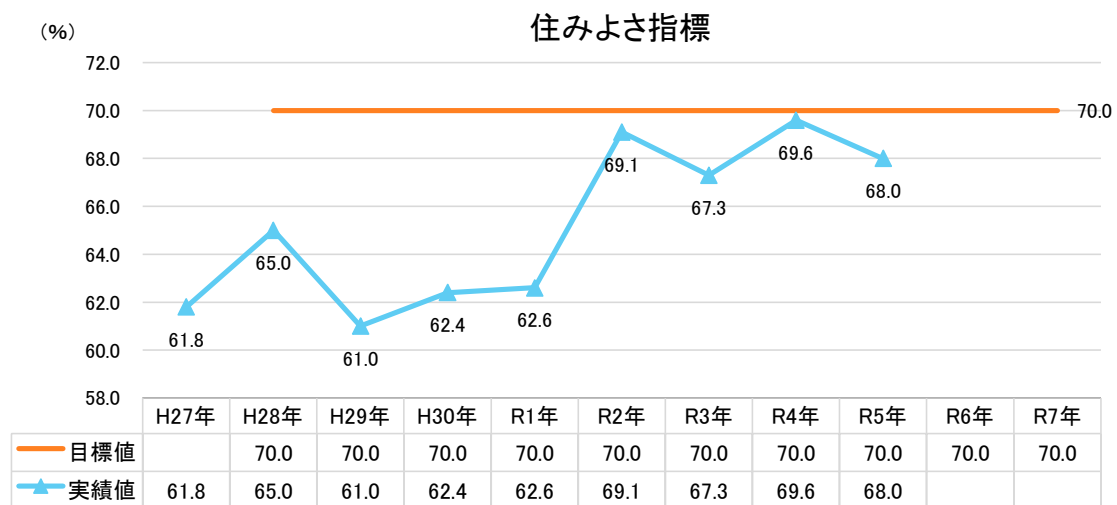
土岐市は暮らしやすいまちと感じる市民

現状（H27 年） 61.8%

目標（R7 年） 70.0%

実績（R5 年） 68.0%

第六次土岐市総合計画では、令和 7 年に「土岐市は暮らしやすいまち」と感じる市民を 70%にする目標を設定していました。実績値をみると、平成 29、30 年ころは「土岐市は暮らしやすいまち」と感じる市民が減少したものの、概ね目標とおり「土岐市は暮らしやすいまち」と感じる市民は目標数値に向けて順調に増加しています。



② 定住指標

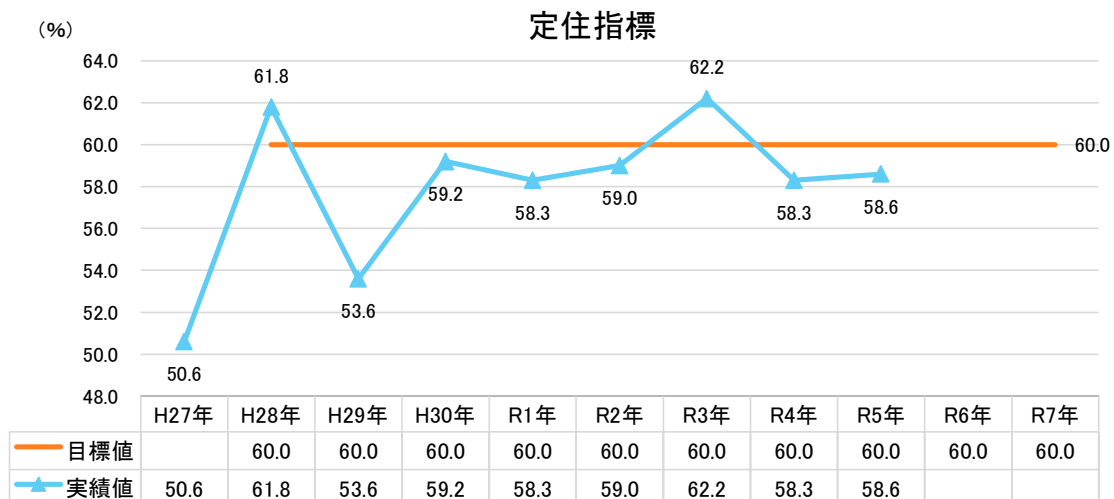
今後も土岐市に住み続けたいと考える市民

現状（H27 年） 50.6%

目標（R7 年） 60.0%

実績（R5 年） 58.6%

第六次土岐市総合計画では、令和 7 年に「ずっと土岐市で暮らしたい」と考える市民を 60%にする目標を設定していました。実績値をみると、計画策定の翌年から順調に「ずっと土岐市で暮らしたい」と考える市民が増えており、目標と同程度の結果となっています。



③市政満足度指標

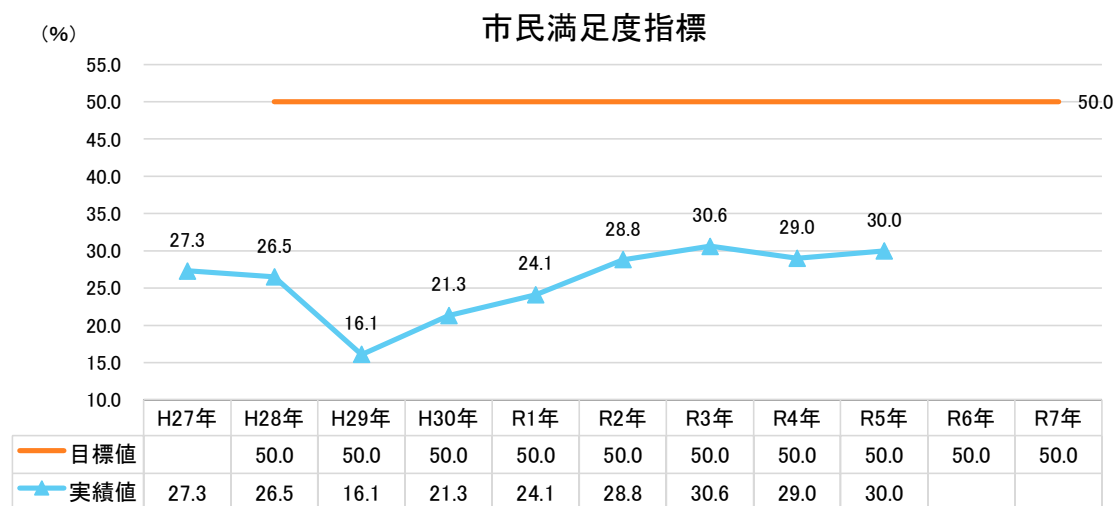
土岐市の現状について満足と感じている市民

現状（H27 年） 27.3%

目標（R7 年） 50.0%

実績（R5 年） 30.0%

第六次土岐市総合計画では、令和 7 年に「市政を総合的に評価した満足度」を 50%にする目標を設定していました。実績値をみると、平成 29 年には 16.1%と 2 割を下回り、その後は増加傾向ではあるものの令和 5 年時点で 30.0%と目標を下回る結果となっています。



2 基本目標別

(1) 基本目標の満足度

毎年実施している市民意識調査で5つの基本目標別に満足度¹の状況を見ると、いずれの目標も平成29年に大きく落ち込んでいます。その後順調に回復し、令和元年度には全ての項目でプラスとなり満足度が増加傾向となっていました。令和4年の調査では減少しています。特に経済・環境分野は満足度がマイナスに転落しています。

基本目標別満足度推移



¹ 意識調査の結果から、35の施策について満足⇒+1.0、やや満足⇒+0.5、どちらでもない⇒0、やや不満⇒-0.5、不満⇒-1.0で点数を算出。基本目標ごとに平均点を算出している。

(2) 基本目標別の満足度及び主な事業

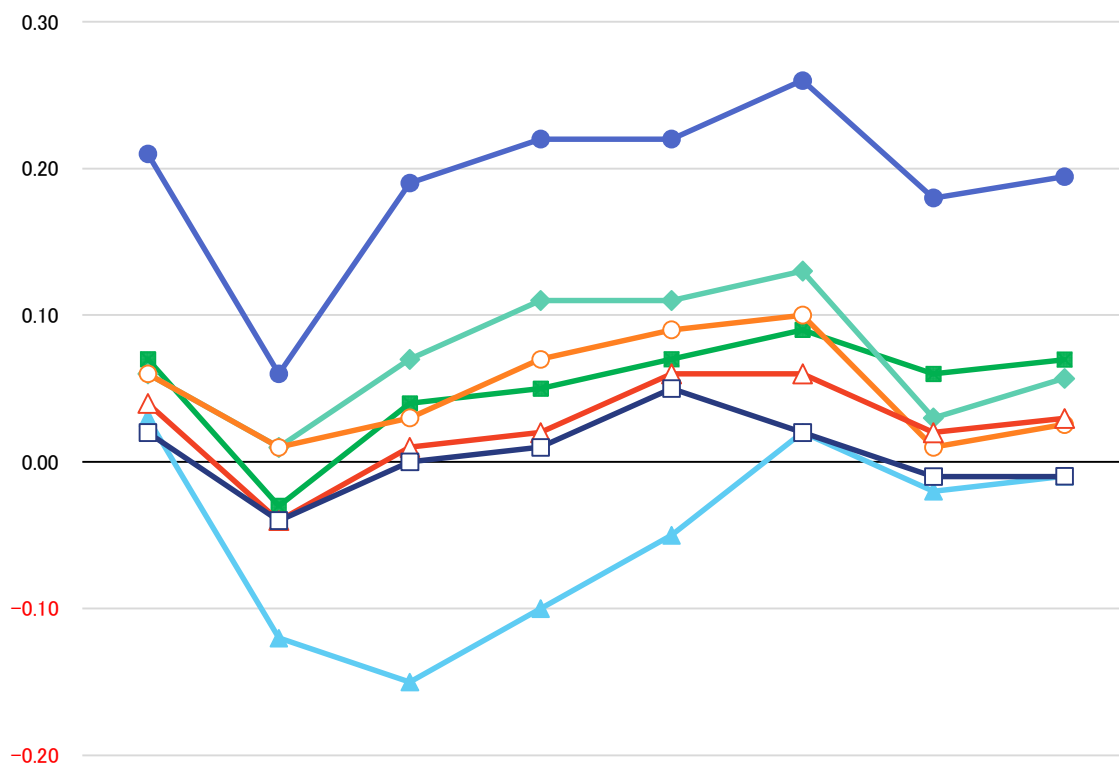
基本目標1 支え合い安心できる暮らしづくり（健康・福祉分野）

① 満足度

健康・福祉分野の取り組み別にみると、7つの取り組みのうち、「健康の増進」の取り組みの満足度が高く、「地域医療の充実」の満足度が低くなっています。

「地域医療の充実」については、平成30年に大きく満足度が低下し-0.15となりましたが、その後上昇しその他の数値と同程度となっています。

健康・福祉



	H28年 (2016年)	H29年 (2017年)	H30年 (2018年)	R1年 (2019年)	R2年 (2020年)	R3年 (2021年)	R4年 (2022年)	R5年 (2023年)
● 健康の増進	0.21	0.06	0.19	0.22	0.22	0.26	0.18	0.19
▲ 地域医療の充実	0.03	-0.12	-0.15	-0.10	-0.05	0.02	-0.02	-0.01
■ 地域福祉の推進	0.07	-0.03	0.04	0.05	0.07	0.09	0.06	0.07
◆ 子育て支援の充実	0.06	0.01	0.07	0.11	0.11	0.13	0.03	0.06
○ 高齢者福祉の推進	0.06	0.01	0.03	0.07	0.09	0.10	0.01	0.03
△ 障がい者福祉の推進	0.04	-0.04	0.01	0.02	0.06	0.06	0.02	0.03
□ 生活支援の充実	0.02	-0.04	0.00	0.01	0.05	0.02	-0.01	-0.01

② 主な事業

事業名	事業概要	評価年度	事業評価	
東濃中部病院整備事業	・土岐市と瑞浪市による東濃中部病院事務組合（一部事務組合）により、新病院の設立、管理運営を行う。	R4	B	地域の医療資源集約・医療確保に向け、建設基本設計・造成工事に一部見直しがあったが、事業全体に与える影響はなく進捗している。
全世代健康寿命延伸事業ときげんきプロジェクト	・これまで担当課ごとに実施してきた健康づくり事業（運動、栄養、口腔、フレイル予防、疾病・重症化予防）を一元管理し、市民が各々のライフステージにおいて自発的に健康になれる環境づくりを進める。	R5	B	令和2年度にときげんきプロジェクトオリジナル体操を制作し、その後普及活動を行ってきた。健康意識無関心者及び社会的孤立者へのアプローチも含め全世代を対象に取組んでいる。
認定こども園整備事業（西部こども園）	・下石保育園、山神保育園、下石幼稚園を統合し西部こども園を整備する。	H30	A	計画のとおり西部こども園の整備が完了し、目標である安心安全な保育・教育環境の提供が可能となった。
認定こども園整備事業（泉こども園）	・いずみ保育園の隣地を取得し、既存園舎の建替えにより認定こども園化を進める。	R4	A	計画のとおり泉こども園の整備が完了し、当初の設計通りコンパクトで機能的な園舎が完成した。
地域子育て支援センター事業	・市内2保育園（つまぎ保育園、ひだ保育園）に子育て支援センターを併設、職員を配置し、子育て相談や子育て支援のイベントを実施してきたが、29年度から西部・駄知・肥田児童センターの3か所に増やし、事業の拡大を図る。	H29	A	開設場所及び開設場所数を見直したことにより、開設時間及び土曜日開設など利用時間等が増え、利用者が大幅に増加した。引き続き、継続実施する。
特定不妊治療費助成事業	・岐阜県特定不妊治療費の助成承認を受けた方に、市へ申請をしていただき助成をしている。	R2	B	治療費が高額である特定不妊治療について、その治療に要する費用の一部を助成することで、不妊治療をしている方の経済的負担を軽減している。

A：順調 B：概ね順調 C：あまり順調でない

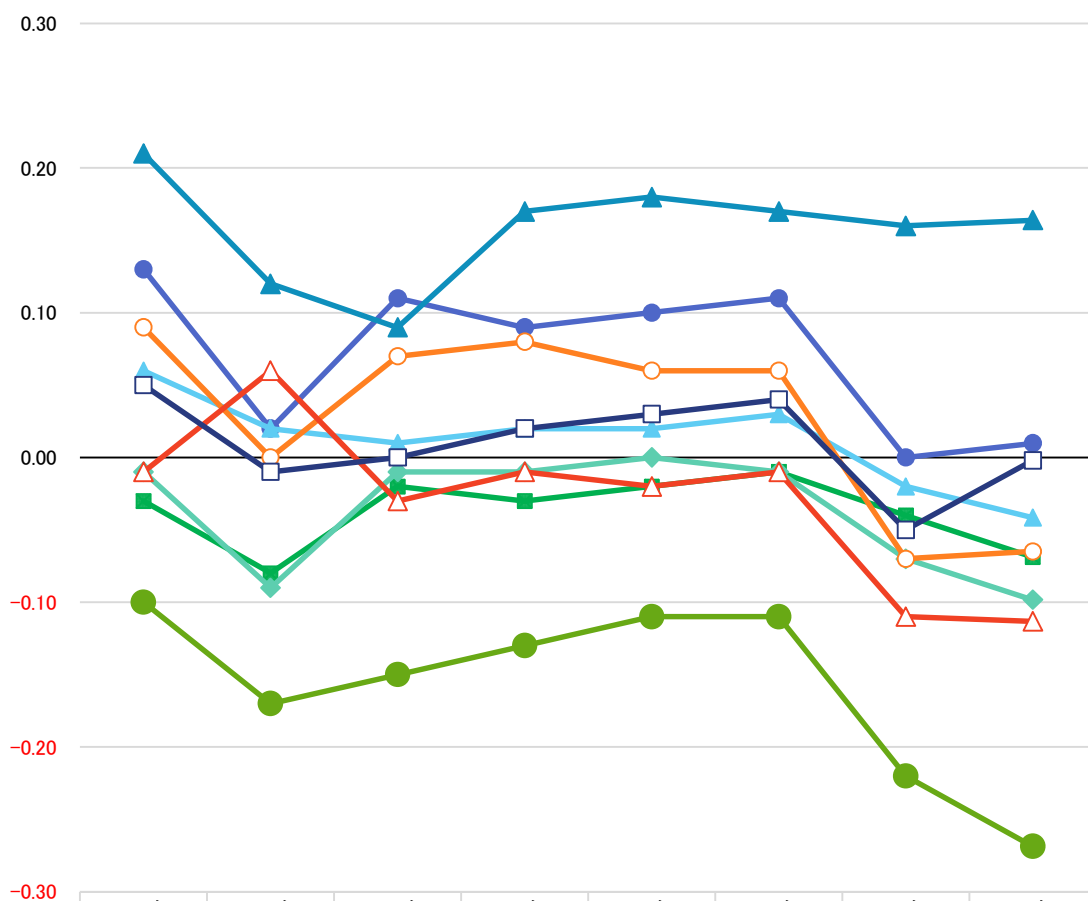
基本目標2 環境と調和したにぎわいづくり（経済・環境分野）

① 満足度

経済・環境分野の取り組み別にみると、9つの取り組みのうち、「廃棄物処理・リサイクルの推進」の取り組みの満足度が高くなっています。

「商業の振興」、「公共交通の充実」については、計画期間全てで0を下回っており、満足度が低くなっています。特に「公共交通の充実」については全取り組みのなかで最も低く今後の課題と考えられます。

経済・環境



	H28年 (2016年)	H29年 (2017年)	H30年 (2018年)	R1年 (2019年)	R2年 (2020年)	R3年 (2021年)	R4年 (2022年)	R5年 (2023年)
陶磁器産業の振興	0.13	0.02	0.11	0.09	0.10	0.11	0.00	0.01
新産業の創出	0.06	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03	-0.02	-0.04
商業の振興	-0.03	-0.08	-0.02	-0.03	-0.02	-0.01	-0.04	-0.07
観光の振興	-0.01	-0.09	-0.01	-0.01	0.00	-0.01	-0.07	-0.10
農林業の振興	0.09	0.00	0.07	0.08	0.06	0.06	-0.07	-0.06
雇用環境の充実	-0.01	0.06	-0.03	-0.01	-0.02	-0.01	-0.11	-0.11
環境保全の推進	0.05	-0.01	0.00	0.02	0.03	0.04	-0.05	-0.00
廃棄物処理・リサイクルの推進	0.21	0.12	0.09	0.17	0.18	0.17	0.16	0.16
公共交通の充実	-0.10	-0.17	-0.15	-0.13	-0.11	-0.11	-0.22	-0.27

② 主な事業

事業名	事業概要	評価年度	事業評価	
美濃焼振興事業	・『土岐市美濃焼PRプロジェクト』で『知らせる』事業案を作成、予算化して事業を実施し、検証を行う。	R5	B	高い技術力に裏打ちされた事業所が多くあるが、うまく商売に結びつけられていない。美濃焼を知ってもらうための効果的なPR方法を検討・実施し、市内で生産される商品の販路拡大につなげていく
企業誘致対策事業	・岐阜県企業誘致推進協議会などによる誘致活動や企業誘致のための用地確保に向けた開発を検討する。	R4	B	近年、着実に企業の新たな進出が決まっており、事業への取り組みの成果が出ている。紹介できる用地がなくなってきたり、可能性調査等早急に実施していく。
泉北部クリエイションゾーン整備事業	・令和4年度に策定した基本計画を基に、ゾーン本体及び進入道路等の基本・詳細設計をする。ゾーン本体は、都市公園法による公園整備とし、建物および敷地造成について基本計画を策定した会社の優れた世界観を表現するため監修委託によって実行する。この設計書を基に整備を実施する。	R5	C	公民連携で取り組んでいる当該事業は、連携を予定していた事業者の地域創生に対する動向を注視するため休止状態となった。今回の取り組みを検証し、改めて当該地の活用方針について検討する。
市民バス活性化・総合再生事業	・路線バスも含めた一体的な公共交通網の維持・改善に努めるほか、運転士の確保、路線やダイヤ情報のデータ化等による利用のしやすさの改善などを地域公共交通計画に盛り込み、多方面からの施策により利便性の向上を図る。	R4	B	イオンモール土岐の開業に伴い運行を開始した東濃鉄道路線バスの新路線でお帰り切符のサービス等を実施し、年末年始の交通渋滞の解消及び公共交通の利用を促進した。
ふるさと応援事業	・市政アドバイザーなどの制度をつくり、真に土岐市を応援してくれる関係人口の増加を図る。またそれらの方を通じて市のPRやふるさと納税をPRしていただく。ふるさと納税の返礼は、本来の趣旨にそぐわないよう寄付者に対して単なる物品を返礼品として送るのではなく、寄付後も土岐市に繋がりを感じていただくようサービスの提供を主とした返礼をする。	R4	A	目標の4億円の寄附額を大きく超える5億円の寄附をいただいた。新しい展開が結果に結びついたことから今後も継続し寄附額を増やすよう取り組む。

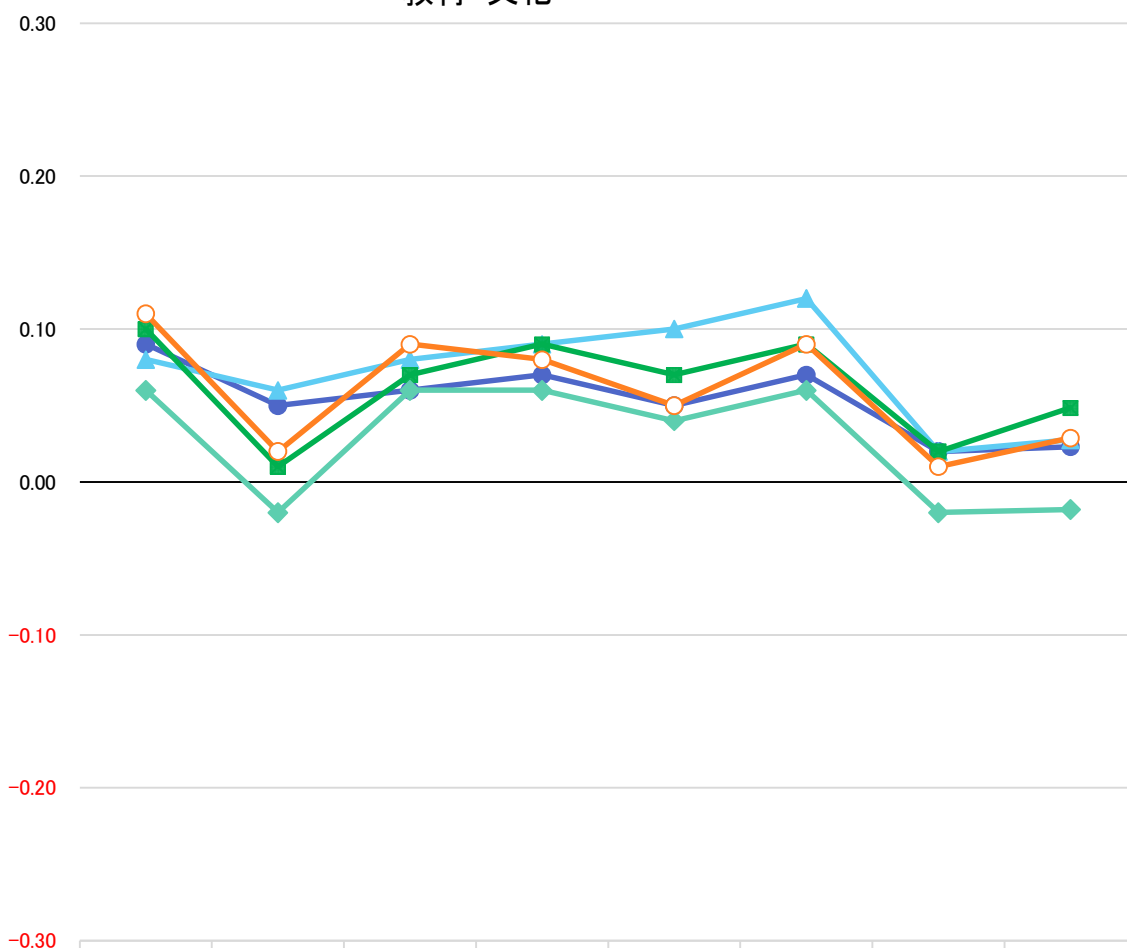
[A] : 順調 [B] : 概ね順調 [C] : あまり順調でない

基本目標 3 豊かな心と文化を育む人づくり（教育・文化分野）

① 満足度

教育・文化分野の取り組み別にみると、5つの取り組みのうち、「生涯学習の充実」の取り組みの満足度が高く、「スポーツの振興」の満足度が低くなっています。「スポーツの振興」以外の取り組みは計画期間中全て0を上回り満足度が高くなっています。

教育・文化



	H28年 (2016年)	H29年 (2017年)	H30年 (2018年)	R1年 (2019年)	R2年 (2020年)	R3年 (2021年)	R4年 (2022年)	R5年 (2023年)
社会教育の充実	0.09	0.05	0.06	0.07	0.05	0.07	0.02	0.02
学校教育の充実	0.08	0.06	0.08	0.09	0.10	0.12	0.02	0.03
生涯学習の充実	0.10	0.01	0.07	0.09	0.07	0.09	0.02	0.05
スポーツの振興	0.06	-0.02	0.06	0.06	0.04	0.06	-0.02	-0.02
文化・芸術の振興	0.11	0.02	0.09	0.08	0.05	0.09	0.01	0.03

② 主な事業

事業名	事業概要	評価年度	事業評価	
きめ細かな学校支援事業	・各小中学校の実態に応じて、学校支援員等を配置し、対象の児童生徒の学校生活を支援する。 ・小学校高学年における教科担任制を推進し、教科指導の専門性をもった教師による指導を行う。	R5	B	サポートティーチャー設置により、小中学校全学年で35人学級が達成するなど、きめ細かな対応ができている。
史跡乙塚古墳附段尻巻古墳保存整備事業	・史跡乙塚古墳附段尻巻古墳保存整備事業整備計画の保存と活用の促進を図る計画を策定した。それに基づき乙塚古墳の整備を実施し、史跡公園としての機能を持たせた。	R4	A	市民に親しまれる史跡公園として整備した。
読書推進事業	・読書活動推進計画を策定し、読書に親しむきっかけづくりとしてのイベントの開催や学校図書館と市図書館の連携を強化する。	R5	B	将来の土岐市を担う人材の育成やまちの活性化等に繋がる事業を今後も進めていく。
文化財保存活用拠点（仮称）整備事業	・建設用地を確保し、令和4年度に策定した基本計画を基に、設計プロポーザル準備及びプロポーザルを実施し、建築（躯体）と展示の整備を進める。	R5	B	土岐市の歴史文化を発信する拠点、にぎわい創出の拠点とする施設を計画に基づき整備する。
部活動地域移行事業	・子どもたちが将来にわたりスポーツや文化活動に親しむことができる環境を確保するとともに、学校の働き方改革を推進する。	R5	B	部活動地域移行コーディネーターを教育委員会事務局に配置し、中学校部活動の地域移行に向けて進めていく。

[A]: 順調 [B]: 概ね順調 [C]: あまり順調でない

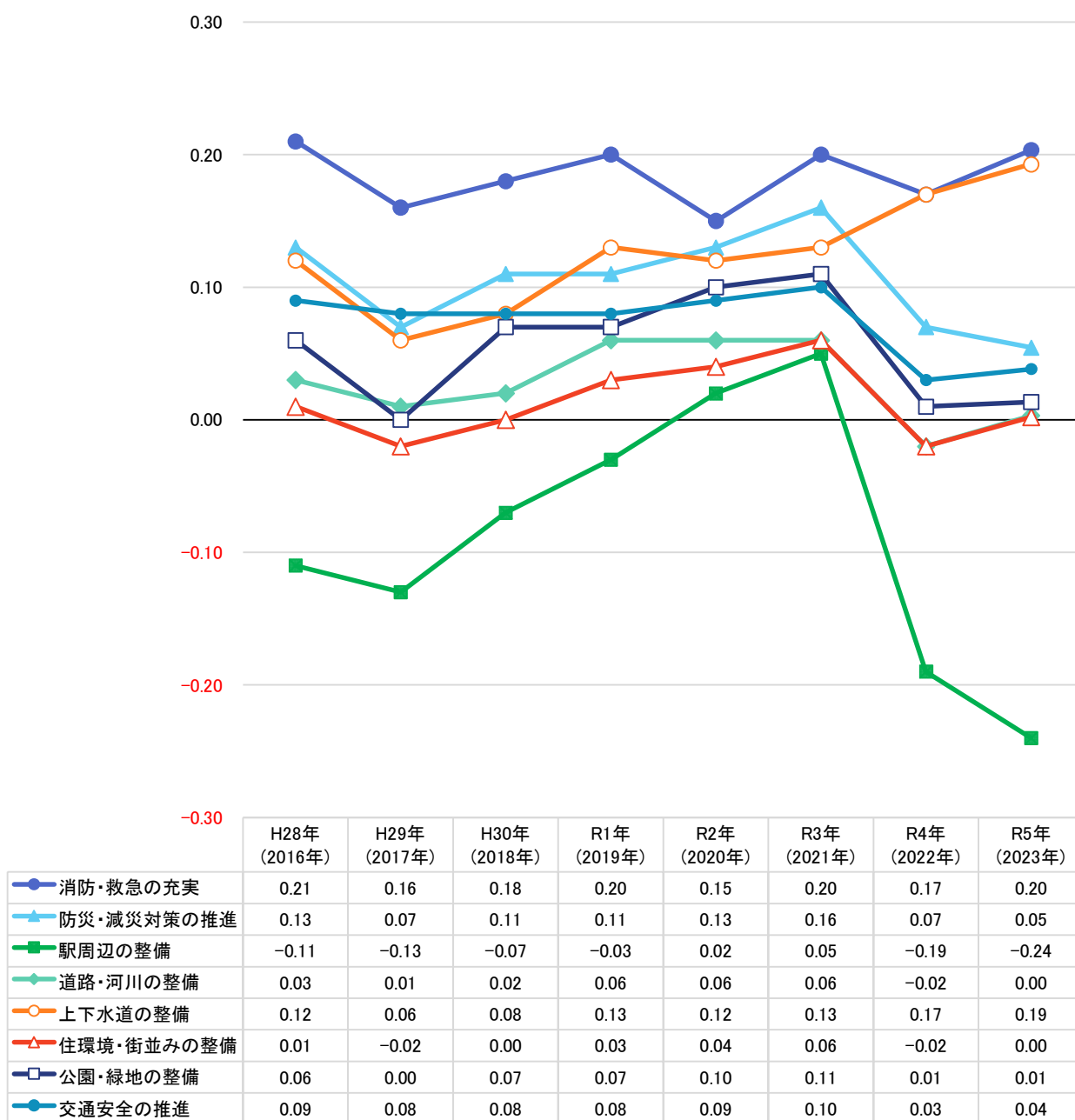
基本目標 4 安全で快適な暮らしを支える基盤づくり（安全・基盤分野）

① 満足度

安全・基盤分野の取り組み別にみると、8つの取り組みのうち、「消防・救急の充実」の取り組みの満足度が高く、「駅周辺の整備」の満足度が低くなっています。

「駅周辺の整備」については、令和3年まで順調に満足度が高くなってきたものの、令和4年に大きく落ち込み、全取り組みのなかで2番目に満足度が低く今後の課題と考えられます。

安全・基盤



② 主な事業

事業名	事業概要	評価年度	事業評価	
駅周辺整備事業	・土岐市の玄関口である駅前広場整備や新土岐津線の拡幅整備などを実施する。	R3	A	新土岐津線や駅前広場、駅北ロシエルターの整備が完了し、交通結節点機能が拡充され利便性と安全性が向上した。
土岐口開発に伴う周辺道路新設事業	・鉱山跡地を活用するため、国道19号オーバーパスや、開発地と県道土岐南多治見インター線を結ぶ道路を新設する。	R元	A	計画どおりに整備され、イオンモールを誘致することができた。
妻木南部土地区画整理事業	・平成30年度事業完了を目指してきたが、一部地権者の反対により事業が遅れている。	R2	C	予定より進捗が遅れているが、事業の完了を目指し引き続き支援していく。
陶元浅野線新設事業	・リニア中央新幹線の開通を見据え市内南北の幹線道路の必要性が向上している。加えて、新病院建設地へのアクセス機能を併せ持つ道路整備が急務となったため、当該路線の再検討を行い、南北の骨格を担う重要路線として整備する。	R5	B	工事用道路となる中肥田工区を工事車両が走行出来るよう工事を完成し、新病院開業に向け整備が順調に進捗している。
地籍調査事業	・土地一筆毎に所有者、地番、地目及び地積の調査を実施し、地籍簿を作成する。 ・土地境界を明らかにし、最新の測量技術を用いた測量成果で登記所に地籍図、地籍簿を成果として備え付ける。	R5	B	官民共に、事業の実施やそれについての土地取引をするにあたり、最も基礎的で重要な案件である土地境界を整理・決定する事業であり、県負担金を有効活用しながら、着実に進めていく。
笠神公園整備事業	・住民生活に密着した憩いの場、交流の場、緑地保全の場として公園を整備することにより、住民生活の豊かさの向上を図る。	H29	A	計画どおり事業が完了し、居住環境が向上した。
濃南分団中核拠点施設建設事業	・地域の消防防災拠点として消防団の活動施設を整備し、消防団の組織の強化を図るため、濃南分団中核拠点施設を建設する。	H30	A	中核拠点施設の建設は、適宜進捗状況を確認するなど適切に行われ建設が完了した。濃南分団中核拠点施設の完成により、早期集結出動が可能となり濃南分団の組織力強化が図られた。また、多数の住民が集まって研修することも可能となり、濃南地区の地域防災力向上を図れる体制が整った。

[A]: 順調 [B]: 概ね順調 [C]: あまり順調でない

基本目標5 協働の仕組みづくり（協働・行政分野）

① 満足度

協働・行政分野の取り組み別にみると、6つの取り組みのうち、令和5年時点では「防犯の強化」の取り組みの満足度が高く、「男女共同参画の推進」、「適正な行政経営の推進」、「国際交流・国際化の推進」の満足度が低くなっています。

「協働まちづくりの推進」については、当初は最も満足度が低かったものの、平成30年以降、満足度は上昇傾向にあり、令和5年時点では0.02と協働・行政分野のなかで2番目に満足度が高くなっており、協働のまちづくりが進んでいる様子がうかがえます。

協働・行政



② 主な事業

事業名	事業概要	評価年度	事業評価	
まちづくり活動 支援事業	・新たな市民活動の立ち上げからプロジェクト活動の活性化及び定着へ向けた支援を行うことで、市民が積極的にまちづくりや市政へ参画する土壌を作る。また、職員の協働意識を向上させ、全市的に市民協働を進められるようにする。	R5	B	各プロジェクトが自立して活動できるよう継続して支援ができた。今後新たな参加者の発掘に努める。
新庁舎建設事業	・巨大地震にも耐えうる機能を備えることにより、安全安心を確保し、誰もが利用しやすい庁舎とすることで、質の高い市民サービスを提供する。	R 元	A	新庁舎整備が完了し、令和 2 年2月2日にグランドオープンを迎えた。明るく開放的で市民が親しみやすい庁舎が完成した。
土岐市空家等対策事業	・土岐市危険空家等除却支援事業補助金交付要綱により、補助金を交付することで、危険等空家の解体・除去を進める。 ・空家等対策審議会を開き、空家の増加、危険度、除去の必要性等に応じた空家等対策計画の見直しをする。あわせて、実行に必要な規程を整備する。	R4	B	安全な住環境の実現に、危険空家の除去補助事業は効果があった。引き続き空家等対策計画に基づき、空き家の適正管理を進める。
西部支所新設事業	・西部こども園を建設するにあたり現西部支所を移転することとなったため、新たに他所において支所を建設する。	H29	A	コンパクトでユニバーサルデザインに配慮した使いやすい支所を整備した。
デジタル・トランスフォーメーション推進事業	・土岐市が担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術や AI 等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく。	R5	B	システムの標準化は、スケジュールの進捗管理をし、予定通りに実施している。市民の利便性向上のため書かない窓口の導入は、できることから検討を続ける。

[A] : 順調 [B] : 概ね順調 [C] : あまり順調でない